



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月27日

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス
コード番号 9037 URL <https://www.hamakyorex.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 竹内 義之

TEL 053(444)0054

四半期報告書提出予定日 2023年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	33,092	1.7	2,946	2.0	3,187	0.5	1,910	2.5
2023年3月期第1四半期	32,547	6.3	2,888	0.9	3,172	3.3	1,958	8.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,242百万円 (0.3%) 2023年3月期第1四半期 2,250百万円 (10.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	101.71	
2023年3月期第1四半期	104.27	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	147,256	89,458	53.3
2023年3月期	143,038	88,149	54.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 78,444百万円 2023年3月期 77,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		45.00		50.00	95.00
2024年3月期(予想)		50.00		50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	139,000	5.4	12,100	4.8	12,800	4.0	7,700	4.0	409.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	19,012,000 株	2023年3月期	19,012,000 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	224,822 株	2023年3月期	224,789 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	18,787,195 株	2023年3月期1Q	18,787,249 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和により経済活動の正常化が進み、緩やかに持ち直しの動きが見られました。一方で、世界的な金融引き締め長期化等による海外景気の下振れリスク、物価上昇等の影響により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、原油価格の高騰や人手不足等、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第1四半期連結累計期間は、営業収益330億92百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益29億46百万円（同2.0%増）、経常利益31億87百万円（同0.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益19億10百万円（同2.5%減）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

（物流センター事業）

当第1四半期連結累計期間の営業収益は206億24百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は26億28百万円（同3.6%増）となりました。

増収増益の主な要因につきましては、物流センター運営の充実と前連結会計年度及び当連結会計年度に受託した新規センターが順次業績に寄与したことによるものであります。

また、新規受託の概況につきましては、4社の物流を受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した1社を含めた5社のうち2社が稼働しております。残り3社につきましては、第2四半期以降の稼働を目指して準備を進めてまいります。

なお、物流センターの総数は、188センターとなっております。

M&Aの状況につきましては、2023年6月に京阪久宝HD(株)を子会社化し、第2四半期以降、順次業績への寄与を見込んでおります。

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

（貨物自動車運送事業）

当第1四半期連結累計期間の営業収益は124億68百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は3億16百万円（同9.8%減）となりました。

増収の主な要因につきましては、輸送物量が低調であったものの、燃料価格による影響を価格転嫁できたことや2023年4月に(株)山里物流サービスを子会社化したことによるものであります。

減益の主な要因につきましては、積載率の向上、輸送コストの抑制に取り組みましたが、低調な輸送物量による営業収益の減少の影響等を受けたことによるものであります。

今後につきましては、新規案件の獲得やグループ内での取引拡大を進め、物量の増加に努めるとともに、管理強化による輸送コストの抑制に取り組み、収益の確保に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

（当第1四半期の状況）

当企業グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比42億18百万円増加し、1,472億56百万円となりました。これは主に、設備投資により固定資産が増加したこと、連結子会社の増加によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比29億10百万円増加し、577億98百万円となりました。これは主に、法人税の支払いにより未払法人税等が減少したものの、連結子会社の増加により流動負債及び固定負債が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比13億8百万円増加し、894億58百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益19億10百万円の計上と剰余金の配当による9億39百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.1%から53.3%へと減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績見通しといたしましては、営業収益1,390億円（前年同期比5.4%増）、営業利益121億円（同4.8%増）、経常利益128億円（同4.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益77億円（同4.0%増）を見込んでおります。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであります。当企業グループの主たる事業である物流センター事業及び貨物自動車運送事業については経済、景気動向及びお客様の業況等の変動により影響を受ける可能性があり、業績予想の修正が必要となる場合は速やかに開示いたします。

なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間35百万円となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,238	23,838
受取手形、売掛金及び契約資産	15,652	16,212
商品	3	59
貯蔵品	137	147
その他	4,513	4,954
貸倒引当金	△35	△40
流動資産合計	45,509	45,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,638	33,375
土地	45,984	47,897
その他（純額）	9,121	10,303
有形固定資産合計	87,744	91,575
無形固定資産	2,654	3,016
投資その他の資産	7,129	7,491
固定資産合計	97,528	102,084
資産合計	143,038	147,256
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,371	7,329
短期借入金	17,031	17,512
未払法人税等	2,339	1,187
賞与引当金	1,351	982
厚生年金基金解散損失引当金	49	49
その他	8,452	10,384
流動負債合計	36,595	37,445
固定負債		
長期借入金	4,669	6,466
退職給付に係る負債	5,868	6,030
厚生年金基金解散損失引当金	27	15
その他	7,727	7,839
固定負債合計	18,292	20,352
負債合計	54,888	57,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,547	6,547
資本剰余金	6,445	6,445
利益剰余金	64,756	65,728
自己株式	△643	△643
株主資本合計	77,105	78,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	266	353
退職給付に係る調整累計額	7	14
その他の包括利益累計額合計	273	367
非支配株主持分	10,770	11,013
純資産合計	88,149	89,458
負債純資産合計	143,038	147,256

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業収益	32,547	33,092
営業原価	28,633	29,052
営業総利益	3,913	4,040
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	1	1
役員報酬	219	216
給料及び手当	229	227
賞与引当金繰入額	34	35
退職給付費用	13	9
その他	526	604
販売費及び一般管理費合計	1,025	1,093
営業利益	2,888	2,946
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	40	61
固定資産売却益	64	50
助成金収入	69	23
売電収入	114	109
雑収入	113	102
営業外収益合計	402	346
営業外費用		
支払利息	35	31
売電原価	55	51
雑損失	27	23
営業外費用合計	117	106
経常利益	3,172	3,187
特別利益		
負ののれん発生益	105	-
特別利益合計	105	-
税金等調整前四半期純利益	3,278	3,187
法人税、住民税及び事業税	1,157	1,163
法人税等調整額	△111	△118
法人税等合計	1,045	1,045
四半期純利益	2,233	2,142
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,958	1,910
非支配株主に帰属する四半期純利益	274	231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	92
退職給付に係る調整額	9	7
その他の包括利益合計	17	100
四半期包括利益	2,250	2,242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,972	2,004
非支配株主に係る四半期包括利益	277	237

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注)2
	物流センター事 業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる 収益	20,211	12,190	32,401	-	32,401
その他の収益	145	-	145	-	145
外部顧客への営業収益	20,356	12,190	32,547	-	32,547
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47	478	525	△525	-
計	20,404	12,669	33,073	△525	32,547
セグメント利益	2,536	350	2,887	1	2,888

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「物流センター事業」セグメントにおいて、東日本急行株式会社の株式を新たに取得したことに伴い、負ののれんが発生しております。なお、当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては105百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注)2
	物流センター事 業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる 収益	20,446	12,468	32,914	-	32,914
その他の収益	178	-	178	-	178
外部顧客への営業収益	20,624	12,468	33,092	-	33,092
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47	487	535	△535	-
計	20,672	12,956	33,628	△535	33,092
セグメント利益	2,628	316	2,945	1	2,946

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。
3. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。